

かまどしぼちことうぐん
竈門氏墓地古塔群

野田 野田自治会

県指定史跡（墓跡）

昭和 50 年 3 月 28 日指定

羽室御霊社裏の境内林に群立していたが、現在は社殿に向かって左側に 9 基、右側に 10 基、境内の南東に 4 基の計 23 基の古塔が整備安置されている。五輪塔・角塔婆・板碑・国東塔などが見られるが、そのうちの社殿左側の 3 基の五輪塔は有形文化財として県の二重指定を受けている。その中の 1 基の地輪に「嘉元四年」（1306）の銘があり、五輪塔の形体から見ても鎌倉時代後期から室町時代前期の特徴を備えているとされている。当時この地（竈門荘）の地頭^{じとう}であった竈門氏一族の墓地であったと考えられている。地元には源為朝に関する伝説が残されており、御霊社の祭神を鎮西八郎為朝として祭っている。



（小玉 洋美）